

令和7年度 農山漁村振興交付金(農泊推進型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和7年度に実施された農山漁村振興交付金 地域資源活用価値創出対策のうち地域資源活用価値創出推進事業(農泊推進型)及び地域資源活用価値創出整備事業(農泊推進型)の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領」(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記4の第10の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和7年度に交付金事業を実施した中国四国管内の22地区のうち、評価対象である12地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が7地区、総合的に低調と認められる地区が5地区との評価結果となった。また、施設整備事業の建設段階である2地区については評価対象外となる。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、昨年度に重点指導の対象となっていた2地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は1地区であった。

3. 各地区の評価結果
12件

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
中国四国	島根県	海士町	海士町(島泊推進協議会)					★		◆		A	令和5年度に整備した宿泊施設の活用が進み、売上高及び延べ宿泊者数について目標を大幅に上回る実績を達成するなど、施設整備の効果が十分に発揮していることが認められる。一方で、宿泊と体験コンテンツを組み合わせたセット販売の割合は低い状況にあるが、今後は体験プログラムの充実や販売手法の工夫を進め、農泊の付加価値向上を図ることが期待される。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	岡山県	倉敷市	株式会社あかつき(下津井sea villago project)					★		◆		A	令和5年度に整備した宿泊施設を活用した取組が着実に進められ、売上高及び延べ宿泊者数について目標を達成するなど、事業の成果が認められる。宿泊者の体験プログラム延べ利用者数についても目標水準に近い実績を確保しており、宿泊と体験を組み合わせた農泊の推進が図られている。今後は体験コンテンツの更なる磨き上げや利用促進により、地域住民と来訪者との交流拡大及び関係人口の創出につながることが期待される。以上のことから、優良と評価する。

中国四国	岡山県	久米南町	株式会社インブリージョン(上 臼みろく農場協議会)					★		◆		A	令和5年度に整備した宿泊施設の活用が進み、売上高について目標を上回る実績を達成するなど、施設整備の効果が発揮されていることが認められる。延べ宿泊者数は目標を下回ったものの、地域資源を活用した体験プログラムや飲食サービスの提供により、農泊の魅力向上に取り組んでいる。今後はこれらの取組を更に磨き上げ、宿泊需要の拡大につなげることが期待される。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	香川県	高松市	株式会社オキオリーブ(西植 田地区活性化協議会)					★	★	◆		A	計画に位置付けられたレストランの新設については計画どおり完了しており、農泊推進に向けた受入環境の整備が図られている。一方で、売上高、延べ利用者数及び食事メニュー数はいずれも目標を下回っているものの、施設整備の成果が利用実績へ結びつつある。今後は整備した施設を核とした誘客促進や地域食材を活用したメニューの充実を図ることとしている。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	香川県	丸亀市	株式会社スナック(本島・さか な部活性化協議会)					★	★	◆	△	C	令和6年度に整備が完了した宿泊施設を活用した取組が進められているものの、売上高及び延べ利用者数は目標を下回っており、施設整備の効果が十分に発揮されていない状況である。ホームページの月間平均アクセス数や飲食店の来店客数は好調に推移している一方、情報発信や誘客に向けた取組の成果が目標達成につながっていない。今後はこれらの取組の改善を図りながら、整備した施設の利用促進や地域資源を活用した農泊の魅力向上を図り、利用者数の増加につなげることを期待する。以上のことから、低調と評価する。
中国四国	高知県	四万十町	特定非営利活動法人RIVER (しまんと分校連絡協議会)					★	▼	▲ ◆	△	C	令和5年度に改修した宿泊施設を活用した取組が進められ、売上高は前年度から増加している。また、体験プログラムの実施により受入環境の充実が図られている。一方で、売上高、延べ宿泊者数及び宿泊者の体験プログラム延べ利用者数は目標を下回っており、施設整備の効果が十分に発揮されていない。今後は宿泊と体験を一体的に提供する取組を強化し、更なる誘客拡大を図ることを期待する。以上のことから、低調と評価する。
中国四国	岡山県	真庭市	国重の森活性化協議会						●	● ■	△	C	計画に位置付けられた食事メニューの開発や体験プログラムの造成については目標を達成しており、売上高についても目標を達成するなど、農泊の受入れに向けた取組が進められている。一方で、宿泊施設の開業が遅れたことにより、延べ宿泊者数は目標を大きく下回る結果となっており、宿泊を伴う農泊の実施には至っていない。今後は宿泊施設の早期開業と造成したコンテンツの活用を進め、誘客及び宿泊者数の増加につなげることを期待する。以上のことから、低調と評価する。

中国四国	香川県	三豊市	しじま・みとよ活性化協議会						●	● ■		A	計画に位置づけられた目標について、売上高及び延べ宿泊者数を含む評価指標の全ての目標を達成しており、計画に基づく取組や実施体制も適切に整備されている。また、地域独自メニューの開発や情報発信の強化に積極的に取り組み、農泊の魅力向上と認知度向上に成果が認められる。地域住民との連携のもと着実に事業が実施されており、地域への波及効果や今後の更なる発展が期待できる。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	香川県	三豊市	仁尾農泊推進協議会						●	● ■		A	構成員だけでなく関係事業者や行政とも連携し、農泊推進に向けた合意形成や受入体制の整備が着実に進められている。仁尾町の歴史・文化や瀬戸内海の景観、農漁業体験など地域資源を活用した体験プログラムの充実や、オンライン予約環境の整備に取り組んだ結果、売上高及び延べ宿泊者数はいずれも目標を大幅に上回った。地域一体となった事業推進により、農泊地域としての魅力向上と誘客拡大が図られている。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	徳島県	三好市外3市町	にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会						●	● ■	△	C	計画に位置付けられた取組について、売上高及び料金単価は目標を達成しており、受入環境の整備も着実に進められている。また、延べ宿泊者数についてもおおむね計画どおりの実績となっている。一方で、主要な取組である新たなターゲット国への営業は実施回数が計画を下回っており、誘客拡大に向けた取組が十分に実施されたとは認められない。今後、更なる集客効果につながることを期待する。以上のことから、低調と評価する。
中国四国	山口県	萩市	萩市ふるさとツーリズム推進協議会						●	● ■		A	ホームページの整備など情報発信の強化に取り組み、延べ宿泊者数、料金単価、受入家庭数等で目標を達成するなど、着実な成果が認められる。受入体制の充実と地域資源を活用した体験プログラムの提供により農泊の付加価値向上が図られており、今後も地域の特色を活かした受入れの推進と情報発信の強化により、更なる誘客拡大と地域活性化につながることを期待される。以上のことから、優良と評価する。
中国四国	香川県	高松市	高松農水連絡協議会						●	● ■	△	C	計画に位置付けられた取組はおおむね計画どおり実施されており、協議会の実施体制についても適切に運営されている。また、地産地消メニューの開発や体験プログラムの造成等の評価指標については目標を達成しており、受入体制の整備が進められている。一方で、売上高及び延べ宿泊者数は目標を大きく下回っており、取組の成果が十分に利用実績へ結び付いていない状況にある。今後は造成した体験コンテンツの販売促進や効果的な情報発信により、誘客拡大と利用実績の向上につなげることを期待する。以上のことから、低調と評価する。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)
(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年度4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第10の3の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 駄田井 久(岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域准教授)
委員 : 木村 京子(香川県農業協同組合 五名女性部部長)
委員 : 弥勒院 琢磨(株式会社農協観光 四国支店 地域共創課長)

【令和8年度評価委員会の開催概要】

1 日 時 :令和8年8月19日(水) 13:30～15:00

2 場 所 :中国四国農政局 (岡山第2合同庁舎 4階会議室)

3 議事概要

① 令和8年度評価対象地区の評価方法について

本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。

② 令和8年度評価対象地区の評価及び取組状況について

令和7年度に事業を実施した22区のうち、評価対象である12地区及び農泊推進型全体について、質疑応答を行った。特に重点指導5地区について、各委員からの助言・コメントを委員会の助言・コメントして意見集約した。

また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた2地区の重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。

各地区の評価案及び重点指導等に関して、了承を得た。

4 主な意見

【評価内容】

・それぞれに整備は充実されている中で高齢化等の関係での人材不足が伺われます。

・多くの地域にてそのエリア・土地特有の体験プログラムの提供や地元食材を使った飲食サービス、また効果的なプロモーションにより安定した宿泊需要にも対応されている印象がある。A評価地域にはその3つのバランスも良く、顧客満足も高いと想像する。

・宿泊人数に苦戦している地域については、情報発信や販売チャンネルの選定、また単なる掲載だけでなく、都度の発信内容にもアクセントをつけ集客につなげていく工夫が必要。

【課題と今後の取組に向けて】

・多くの地域で本事業による取り組みが行われている。共通の課題もあるので取り組み地域での情報共有、インバンド向けに取り組み地域を回るツアーの提供など、地域間の連携も行ってほしい。

・農泊の取組を通じて、若者を呼び込み、情報発信の工夫が関係人口を増やし、移住にも繋がり地域の活性化になって行くのではないかな。